

■ 目標

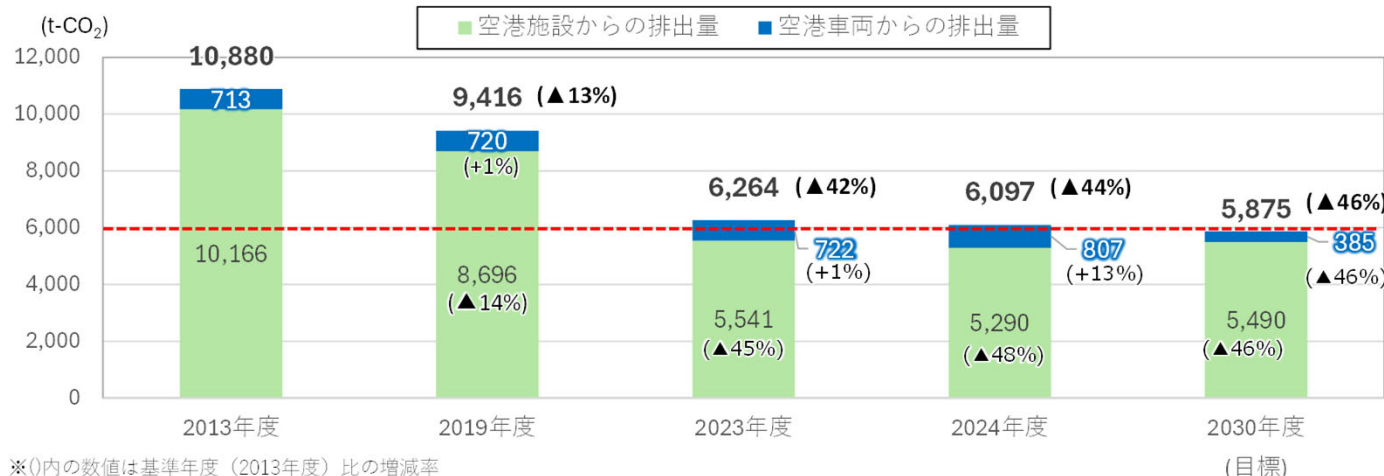
2030年度 CO₂排出量 2013年度比 46%削減

2050年度 カーボンニュートラル

■ 取組状況

- 空港の施設**：施設照明LED化により、CO₂排出量は76t-CO₂/年削減。(2013年度比0.7%相当)
 太陽光発電の導入により、CO₂排出量は854t-CO₂/年削減。(2013年度比2%相当)
 環境価値の購入により、CO₂排出量は164t-CO₂/年削減。(2013年度比1%相当)
- 空港車両**：空港車両のHV化により、CO₂排出量は推定0.3t-CO₂/年削減。(2013年度比0.003%相当)

区分	CO ₂ 排出量 [t-CO ₂ /年]				
	2013年度	2019年度	2023年度	2024年度	2030年度 (目標)
空港の施設からの排出量	10,166	8,696	5,541	5,290	5,490
空港車両からの排出量	713	720	722	807	385
計	10,880	9,416	6,264	6,097	5,875



2030年度目標値

※()内の数値は基準年度(2013年度)比の増減率

※仙台空港脱炭素化推進協議会構成員からの報告を元に作成

■ CO₂排出量の増減理由

- 空港の施設からのCO₂排出量は減少傾向にある。太陽光発電の導入及び環境価値の購入等がCO₂排出量の削減に寄与した。
- 空港車両からのCO₂排出量は近年増加傾向にある。GSE車両置場から国際線エリアまでの距離が遠いことで空港車両の走行距離が増え、国際線の比率の増加に伴いCO₂排出量が増加したと考えられる。